

## 第2回 プチでない豪華クルージング

6月12～13日



地元のヨットマンとエールの交り

### お初！泊まりがけのプチクルは。

日帰りのプチクルは、これまで既に満喫してきたということで今年は「一泊クルージング」。その第1弾は和歌山マリーナシティとなりました。参加艇は10艇。なんとお子様を加え47名の参加となりました。6月12日10時頃 相前後して参加全艇が淡輪を出航。往路は加太瀬戸を抜けると連れ潮3ノットに20ノットの南風。兎ぴょんぴょん波高は2メートル以上。たっぷりスプレーの歓迎を受けました。

和歌山ということで大平元会長のお世話になり、宴会は「和歌山ロイヤルパインズホテル」の「和歌の浦」の間。プチクル史上かつてない豪華版でありました。ご当地の「マリーナシティセーリングクラブ」「和歌山オーシャンヨットクラブ」の御代表をお招きして、エールの交換。JOYRIDEのM君の軽妙な司会で大いに盛り上がったカラオケ大会では、全員登場で「海その愛」を熱唱したスターダストチームが優勝。

翌13日(日)は、いよいよ梅雨入り、波高3mの予報もあり、早朝6～7時には全艇がマリーナシティを後にしました。幸い予報程荒れる事もなく、小雨の中10時過ぎには全員が無事帰着し、クラブルームで打ち上げ。「泊まりがけのクルージングは、やはりゆっくりと楽しめていいな！」と、好評でありました。

(幹事艇 PUKUPUKU 市川)



マリーナシティに到着  
南国の雰囲気です

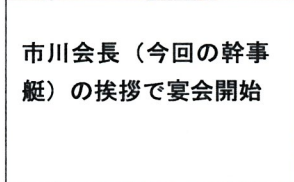


マリーナシティに  
舳を取った各艇

時間がある人は遊園地や黒潮温泉へ(子供の前でポーズを取ってはしゃいでいるのはZEROで参加のフェアリー木下氏)



豪華な料理が並びました  
見てるだけでヨダレが・・・



市川会長(今回の幹事艇)の挨拶で宴会開始



盛り上がります



今回、御尽力していただいた大平元会長(奥様とのダンス)



カラオケ大会で優勝したスターダストチーム(ZEROの響君が特別参加)

# さつきレース 5月16日



スタートする各艇

## IRCクラス優勝 EMI

EMIクルー shin

朝は風がなかったが、ちょうどスタート時刻になってそよそよ吹いてきた。6艇しかいなかったが、実力伯仲おもしろいレースとなる。

1レース目、EMIはスタートで左海面をとり出遅れるが、なんとか逆転でファーストホームとなった。

2レース目はこれまた団子状態。1上はオーバーラップ続出の迫力。なんと1上マーク手前で上りきれず、ルームもなくジャイブになり遅れるが、下りで逆転。下マークもオーバーラップが出る面白さだった。

新人クルーの紹介があったり、世界一周のクルージング艇でお茶をいただいたりと、レース後も楽しい一日でした



## オープン優勝 海燕2

「海燕」末端クルー 2号より

天気予報では雨天であった5月16日(日)の「さつき杯」。一ス日和となりました。8時30分の集合時点では、ほとんど風も無く、3月に続きレース不成立の憂き目に会うのではないかとおそれましたが、10時40分、無事「第一レース」



スタート。かくして熱戦の火蓋が切られたのであります。

申し遅れましたが、私は、先月、上海へ強制送還された末端クルー1号に誘われ、交代要員として調達された、末端クルー2号でございます。今後ともお見知りおき下さいます様、よろしくお願い申し上げます。

(話は戻ります。)レース中はと申しますと、“タック”“ジャイブ”のコールで、デッキ上をカケズリ巡らされるわ。酔っ払いのおっさんが絶叫するかのごときオタケビが発せられるわ。ここは大衆飲み屋かと思まがうばかりのワンダーランド。かくして、ワケが分からぬまま、レースが終了。結果、缶ビールが20本、焼酎2本半が空き、Aクラス「優勝」という成果もしとめたのであります。

乗船二回目の末端クルーではありますが、「さつきレース」へ参加させて頂いたコトにより、呑みノリの楽しさや「海燕」ならではの緊張と緩和の絶妙のハーモニーを体感出来、充実の一日を過ごさせて頂きました。どうやらヨットの世界に病み付きになりそうです。こんな楽しい体験をさせて頂いた「海燕」クルー各位、そして、レース運営のスタッフの皆様には、こころより感謝申し上げます。次第です。



上 IRC優勝 EMI



左 オープン優勝 海燕2

外国人助っ人を乗せたキラキラ



チビズル



上 Ryusei6



左 TWOTON

第1回

# ディンギーレース 5月23



スタートする各艇

# 体験試乗会 5月30日



パウに立ってはいポーズ？

5月30日に協会主催の体験試乗会が行われた。たくさんの方がヨットやモーターボートを楽しみました。

5月23日に第1回ディンギーレースが開催された。エントリーは6艇あったが、体調不良（1名は病気で2名は怪我）で出艇は3艇と寂しいレース（おまけに微風と雨）となった。クラブ員の平均年齢も上がっていることですし季節の変わり目の体調管理には注意しましょう。



競り合う古谷選手と（前）織田選手

細谷選手  
途中リタイア  
残念！



## さつきレース成績表

クラス	艇名	艇種	1R	2R	総合
IRC	EMI	Mumu36	1	1	1
IRC	チビズル	SEAM31	3	2	2
IRC	Ryusei-6	FARR-34IMS	2	3	3
OA	海燕II	X-99	1	1	1
OA	TWOTON	J92j	2	2	2
OA	キラキラ	Y31S	3	3	3

## 第1回ディンギーレース成績表

選手	1R	2R	総合
古谷	1	1	1
織田	2	DNF	2
細谷	DNC	DNC	3



ドキドキしながら操船

疾走する南風



ディンギーも活躍しました

参加した唯一のモーターボート  
ジェイネッター





ドイツ艇 Ludus amoris

★ドイツから

“Ludus amoris” 寄港

5月15日、クラウス、マリア夫妻の乗るドイツ艇ルーダスアモリス（ホルベルグ・ラッシー45）が入港しました。ご夫婦はドイツ内陸部のシュツットガルトの出身で68歳、マリアさんは元ピアノ教師で、艇内には大きな電子ピアノがあり、夫妻でクラシックやポピュラーの連弾も楽しむそうです。翌16日は名艇キラキラのクルーとしてさつきレースも楽しまれました。

さて、同艇は8年前にドイツを出航し、パナマから太平洋へ出て南下、マゼラン海峡を東に抜けて反転し、ホーン岬を東から西に廻って再び太平洋へ。そして南太平洋の島々を訪ねながら北上、沖縄から日本各地に寄港しての来淡でした。そして5月21日早朝、最終目的地をアラスカとしながら、次の寄港地の田辺に向けて出航しました。

その後、Eメールの連絡によれば、田辺を出航して間もなくマリアさんが大波の中で背中を打撲、勝浦に入港して、病院で検査治療を受け暫く休養の後、御前崎、下田経由でクルージングが続けられています。



オーストラリア艇 “YARINGA”

★オーストラリア艇

“YARINGA” が寄港

5月19日夕刻、オーストラリア艇ヤリング（45ft）が入港しました。同艇はその10日ほど前に一旦淡輪に立ち寄り、直ぐに大阪方面へ向けて出航し、舞い戻ったものです。乗り組みはゲリーさん、スーさん夫妻と13才、10才の息子の一家4人です。

ヤリングはゴールドコーストの南の町、Yambaのゲリーさんが働く造船所で、自作したもので、45ftの頑丈な艇です。今年3月に母港を出航し、アラスカに向かう途中淡輪に寄港したものです。

ゲリーさんは20年ほど前にオーストラリア艇のクルーとして来日、塚に数ヶ月滞在し、そこで英会話学校の講師をしていたスーさんと知り合い結婚、今回はその思い出の地へのクルージングでもあったようです。なお、10才のルイス君はダウン症で、足の発育も少し悪いようですが、家族みんなで支えて、普通のことのように太平洋一周に臨んでおられます。

先を急ぐため2日早朝には出航、淡輪へは正味3泊2日の滞在でしたが、下田でもドイツ艇ルーダスと一緒に、元気で航海を続けている模様です。

9月中旬、クリエーションに入ったメールによれば同艇は18日間の航海でアリューシャンのダッチハーバーに到着。アラスカのあちこちに寄港、9月末にはカナダ方面へ南下の予定。



淡輪メンバーで表敬訪問



ドミンゴでの楽しい時間

さつきレースにキラキラで参加。レース後は寄港地の写真を見みんなに見せてくれました



アラスカでの記念撮影

